

12月のお知らせ・行事

★千支づくり

日時 12月7日(火) 13時30分～
内容 軽量紙粘土で、かわいい千支を作ります。

参加費 500円

申込〆切 11月30日



★ヨチヨチランド

日時12月8日(水) 10時～
内容 「おでかけ広場」



★竹野南学園

日時 12月14日(火) 13時30分～

内容 囲碁ボール大会

身体を動かし、
作戦をたて競うことで
フレイル予防！

参加費 200円

(喫茶代)



★お正月寄せ植え教室

お正月にぴったりの、お花を準備
しませんか？

日時 12月20日(月)

10時00分～

参加費 2,000円

申込〆切 12月15日(水)

持ち物 軍手・花ばさみ など

お問合せ・申込は 竹野南地区コミュニティセンターへ 電話 48-0008

| 日 | 曜日 | 12月 活動・事業・センター貸館状況 |
|--------|----|--------------------|
| 12月7日 | 火 | 千支づくり 13:30～ |
| 12月8日 | 水 | ヨチヨチランド 10:00～ |
| 12月9日 | 木 | お花の会 20:00～ |
| 12月14日 | 火 | 竹野南学園 13:30～ |
| 12月17日 | 金 | おもてなしコーヒー 13:30～ |
| 12月18日 | 土 | 里山の会 9:00～ |
| 12月20日 | 月 | 寄せ植え教室 10:00～ |
| 12月28日 | 火 | お花の会 20:00～ |

・毎週月曜日 玄さん元気教室 13:30～

・毎週水曜日 食事サービス 9:00～11:30

・ “ ささえ愛通所サロンわいわいみ・な・み 10:00～15:00

・毎週木曜日 喫茶よつば／わいわいみ・な・み市場 10:00～15:00



NPO法人

わいわいみ・な・み 60号

2021.11.25

編集:NPO法人わいわいみ・な・み

豊岡市竹野町森本 984-1 TEL: 48-0008(FAX兼用)

「のりあいみ・な・み」 実験開始！

11月15日より始めました。

以前よりお知らせしていた、イナカーバスが無くなるかもしれないという中で、市役所との相談で進めてきた新しい交通の実験が始まりました。

令和2年10月～令和3年9月までのイナカーの乗車率は低く、特に三原線は0.93人となり、継続可能とされる1.0人を割り込みました。

この結果から、来年10月以降はイナカーが無くなる可能性は高いでしょう。このままバスが無くなるのか、新しい交通として形を変えて残すのかを決めるのは、住民の皆さん次第です。

バスが無くなれば「診療所に行くにも、タクシーを呼ばなくては行けない…」という事にもなりかねません。

何もしないで「バスが無くなるのは困る！」と意見を言うだけでは、交通手段は守れません。

住民の皆さんが、しっかりと体験し意見を出し合い向き合うことが必要です。今回の実験で試されるのは「のりあい み・な・み」という乗合タクシーで、完全予約制となります。あくまでバスの代替りの交通なので、運行日や時刻表、料金が決まっています。

利用する前日までに連絡を入れて、使う日と、時間(時刻表参照)、どこから誰が乗る、降りる場所などを伝えて予約をします。

まずは、一度みなさんが利用して実験への意見や感想をお聞かせください。



「みんな 仲良く 未来に向けて」



備えてより安心に暮らす

★竹野南地区の避難所のコロナなどの感染症対策など、より安全な避難について学び考えました

今年の南地区防災研修は、佛教大学の後藤先生をお招きして「安心安全な避難と避難所運営を考えよう！」をテーマにお話を聞かせていただきました。

その後、昨年作った水害時避難マニュアルの見直しを各グループに分かれて行い、参加者は各区長や民生委員、民生協力委員や、地域の活動者など大勢の方々に、後藤先生の話聞いて、マニュアルに追加された部分や、昨年とは違う表現にしたりと、ワイワイにぎやかに意見が出ていました。



下村農会からお知らせ

★下村農会歳末朝市

昨年に引き続き、地域の生産品や但馬農高のシクラメン、果物などが並びます！

皆さんぜひ、来てください！

12月12日(日)

8:30~11:00

下村堆肥販売場前倉庫

令和3年度市場終了

★わいわいみ・な・み市場

わいわいみ・な・み市場は、冬期お休みとなります。出荷者の皆さんも、お買い物に来てくれる皆さんも、多くの方に参加いただきました。来年度の再開は改めてお知らせします！

市場最終日

12月16日(木)

喫茶は、12月23日まで

にぎわいました！

★わいわいみ・な・み市場まつり 楽しく開催できました

文化祭や合同運動会もなく、住民の皆さんが楽しむ機会がないという声も多く、コロナ対策を行いながら「わいわいみ・な・み市場まつり」を開催し、通常の木曜日でなく、いろいろな方に来てもらうため日曜日開催としました。

いつもの喫茶と市場に加えフリーマーケットも開催し住民の方も出店し、趣味で作ったものや、飼育しているメダカを「メダカすくい」として出して下さったりして楽しい催しになり、大人も子どもも楽しみました。

同じ南地区に住んでいても、顔を合わせる場がないので「ひさしぶり〜」「最近どうしてる?」「子ども大きくなったなあ」などの会話が飛び交っていました。

コロナ禍で繋がる場の持ちにくい近年ですが、やっぱり人と人がつながるのは大切だと参加した皆さんの意見でした。

